




# これからの住まいと暮らし

時代と共にライフスタイルは変化し、それに合わせて住宅を建てる際のコンセプトや間取り、設備などが変化しています。また、近年では、新しい建材や設備が開発され、環境に配慮した省エネ性能が高い住宅や地震災害に備えて耐震性を高めた住宅など、より快適に、より安全に生活できる住まいを実現する設計プランが提案されており、住宅の「質」も重要視されています。


また、現在の日本では、少子高齢化に伴う人口減少、世帯数の減少により住宅ストックが過剰となり、空き家の利活用や既存住宅の流通促進が課題となっています。そのため、リフォーム等による既存住宅の性能向上の必要性が高まっており、機構では平成28年10月より省エネルギー性や耐震性等の性能を一定以上向上させた中古住宅を取得する場合に金利を引き下げる「【フラット35】リノベ」の取扱いを開始しました。

こうした中で、本号では「これからの住まいと暮らし」という特集を組みました。「住まい」や「暮らし」に関わるお仕事に携わる方々より、それぞれの観点で、これからの住まいと暮らしについてご提案いただきました。


## Contents

- 

**① 子どもの“生きる力”を育む、住まい環境づくり  
～積水ハウスのキッズでざいん「コドモイドコロ」～** 08

積水ハウス株式会社 総合住宅研究所 課長 河崎 由美子  
ライフスタイル研究開発グループ グループリーダー
- 

**② 工務店のビジネス新時代  
地域に役立ってこそ生き残れる** 14

一般社団法人JBN・全国工務店協会 会長 青木 宏之
- 

**③ 働き盛りの疲労意識と実態** 20

東京ガス株式会社 都市生活研究所 効用研究チーム 主任研究員 藤村 寛子

